

令和5年度まちづくり戦略 PTの進め方について

令和5年8月
まちづくり戦略PT事務局

1. まちづくり戦略のKPIの振り返り

【まちづくり戦略のKPI i (R4～)】

- 市町村とも連携しながら、地域主導・官民共創による個性的なまちづくりに向けた地域での新たな取組みや発展的な事業展開を行う組織の創出（15組織）

【背景・考え方】

- ・ ボトムアップな地域主導・官民共創による富山らしい個性的なまちづくりに取り組むため、県と市町村による実行体制・仕組みを整備。
- ・ まちづくりの機運醸成や情報共有等を行う「全県的な支援組織」を設置し、まちづくり組織の設立や運営に対する具体的な助言・支援等の取組みを実施
- ・ 県内各地域で、個性的なまちづくりに向けた新たな取組みや発展的な事業展開を行い、移住・定住や関係人口の開かれた受け皿ともなる組織について、全市町村をカバーすることを考慮し、15組織の創出を目指す。

1. まちづくり戦略のKPIの振り返り

【まちづくり戦略のKPI ii (R4～)】

■ 富山の自然や風土を活かし、新しい文化を組み合わせた持続可能なまちづくりプロジェクトの創出

【背景・考え方】

- ・ 富山の自然や風土と、開かれた文化的環境を最適に組み合わせることで、県民等が幸福になれるまちづくりを目指す
- ・ 世界から注目される未来的・先進的なまちづくりプロジェクトの創出を目指す。

2. R5会議の進め方 ①前年度からの主な見直し内容

- 議論をオープンにし、関係者の理解を深め、連携強化を図るため、原則公開でPTを開催。
 - PTは「重点的検討課題」について、その課題克服のための「重点的取組み」検討の議論に集中（アクションプランの検証については県で実施し、PTへ報告）
- R5のまちづくり戦略PTでは、昨年度PTでの意見も踏まえ、KPIの達成に向けた具体的な取組みを重点的に議論

2. R5会議の進め方 ②検討スケジュール（案）

6月頃

①「重点的検討課題」の決定

- ・各テーマを進めるうえで、行政や事業者などが抱える課題のうち、R5に重点的に検討すべきものを洗い出し



8～9月頃

②「重点的取組み」の検討【PT】

- ・①で洗い出した課題を解決するための取組みを検討



10～2月頃

③アクションプランのとりまとめ

- ・②の取組みを具体化するための施策を検討

2. R5会議の進め方 ②検討スケジュール（案）

	成長戦略会議	PT	備考（県）
6月	第1回会議(6月下旬) →各戦略の「重点的 検討課題」を報告		「重点的検討課題」洗い出し R4アクションプラン検証
8～9月		第1回/第2回会議 →「重点的取組み」の検討	
10月			カンファレンスで各戦略の 「重点的取組み」を発信
11～1月	第2回会議 →R5の各戦略の取組 状況を報告	「重点的取組み」を踏まえて、県でR6アクションプランをとりまとめ (PT委員と連携)	
2～3月	第3回会議 →R6アクションプランを 報告		
		(県からPT委員へ、 R6アクションプランを報告)	R6アクションプランの公表 (2月中旬)

3. R4まちづくり戦略PTでの主な意見に対する対応状況

①まちづくりに関する中間支援組織の設置

- ・ 富山県を俯瞰した全県的なまちづくりの支援組織として、官民一体のコミュニティシンクタンクの創設を目指す
- ・ 県内各地域で新しい価値観を持って面白いことに取り組む人やそれらの人の連帯を増加させることが富山を変えていく
⇒しあわせデザインの設立

②居心地がよく個性的な田園地域づくり

- ・ 重要なテーマであるが議論できていないため、特化した会議が必要
⇒重点的に検討を進めるため、R5.4月に専門部会を立ち上げ

③まちづくりの担い手の育成

- ・ まちづくりに自分事として参画できるコミュニティが各地域に必要
- ・ 女性や若者が担い手として参画できる環境が必要
- ・ 地域で活動したい学生もいるが、企画する規模が小さくもったいないことが多い
⇒必要な人材を増やす方策を、R5まちづくり戦略PTで重点的に議論

4. R5まちづくり戦略PTの重点的検討課題

各地域のキーパーソンとなりうる人を増やす

【現状と主な取組み状況】

- ・ 県内全域で個性的なまちづくりを進めるため、各地域のキーパーソンとして、①**中長期的な目標**を持って、②**継続的に活動**し、③**富山にインパクトを与える人**を増やすことが必要

【検討の方向性】

- ・ 各地域のキーパーソンとなる人を増やすためには、**実際の活動を行う中で出てくる課題に対し伴走を行い、ネットワークづくりにもつながる仕組み**が必要と考えるが、**具体的な方策**について、想定される実施主体のニーズを踏まえて検討

5. 人づくりの課題－①市町村の意見

【主な課題】

① 各地域のキーパーソンとしてプロジェクトを回していける若手人材の確保・育成

- ・地域のまちづくりに関わる人が高齢化。
- ・活動のキーパーソンとなる若い人を育てたいが、具体的に何をすればよいかわからない。

② 市町村の枠を超えたネットワーク作り

- ・プロジェクトに学生の力も借りたいが、チャンネルがない。
- ・活動の立上げの際に必要な人材を見つけられるよう、市町村の枠を超えた人材ネットワーク作りに協力してほしい。

5. 人づくりの課題－②専門部会での意見

【主な課題】

① 若者が新たなことに挑戦できる環境づくり

- ・ 今後20年を支える20～40代の若者が、地域のために話し合う場がない。
- ・ 新しい事業がうまくいっている地域は、新しい視点の若者をいろんな立場の人が応援している。

② 地元のチームを支える人材育成の仕組みづくり

- ・ ビジョンを実現するためには、議論をまとめる力、企画にする力、資金を集める力など様々な技術が必要。
- ・ 地元のチームだけでは足りないプロフェッショナルな支援があると、各地域で事業が進めやすいのではないか。

5. 人づくりの課題－③ターゲット

- これまで、県が実施する人づくりの取組みは少なかったが、今後、県ではTYPE1～2をターゲットにした取組みが必要か？

まちづくり戦略PTで具体的な方策を議論

TYPE1

夢や課題意識を持って富山でまちづくりをしたいと思っている人

(例)
学生など

TYPE2

仲間を見つけて、具体的なまちづくりの活動を行っている人

(例)
町内会、地域おこし協力隊など

TYPE3

中長期的なまちづくりの目標を持って継続的に活動し、富山にインパクトを与える人

(例)
まちづくり組織など

TYPE4

富山から世界にインパクトを与える人

(例)
NEXT100など

5. 人づくりの課題 – ④県内外の取組み事例

○県内外の取組み事例をターゲットや主な実施主体ごとに分類

